

## 会 議 録

会議の名称	令和元年度第2回 三郷市障がい者就労支援ネットワーク会議		
開催日時	令和 2年 1月22日(水)	開 会	13時30分
		閉 会	15時10分
開催場所	三郷市役所6階 第3委員会室		
出席者	構成機関	(出席人数 12人)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワーク草加 統括職業指導官 鳥海 文雄</li> <li>・埼玉県立三郷特別支援学校 教諭 柳澤 健</li> <li>・埼玉県立越谷特別支援学校 教諭 糸井 敏夫</li> <li>・埼玉県障害者雇用総合サポートセンター サブアドバイザー 砂原 茂</li> <li>・東部障がい者就業・生活支援センターみらい 主任就業支援担当 阿部 孝之 就業支援担当 小元 千恵子</li> <li>・就労移行支援事業所ラ・ポルタ 主任就労支援員 稲垣 祐真</li> <li>・就労移行支援事業所カルディアみさと サービス管理責任者 小守 和彦</li> <li>・就労継続支援A型事業所ブルースカイ サービス管理責任者 千葉 智子</li> <li>・就労継続支援A型事業所インスピリット 代表理事 石井 圭太</li> <li>・みさと協立病院デイケア 土居 晃</li> <li>・三郷市障がい福祉相談支援センターパティオ 施設長 山田 一三</li> </ul>	
	事務局	(出席人数 4人)	
		三郷市障がい福祉課 高橋課長、岩間課長補佐、障がい者就労支援係 兒玉係長、櫻井主任社会福祉主事	
次 第	(1) 各機関の状況について (2) 三郷市障がい者計画・第5期三郷市障がい福祉計画進捗状況について ① 障がい者就労支援に関する施策の展開状況について ② 障がい福祉サービスの推進の状況について (3) 各機関における一般就労への求職支援について(情報交換) (4) その他		
配布資料	次第・資料1・資料2・資料3・資料3-1		

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項
事務局	資料確認、録音の了承
各構成機関	<p>1. 開会</p> <p>2. 開会挨拶 高橋課長</p> <p>3. 議事</p> <p>「(1) 各機関の状況について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 三郷市障がい者就労支援センター           <p>資料1をもとに説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 求人について、市内は物流関係、介護施設の清掃、小売業など現業が大半を占めている。事務関係は市内では求人数が少なく、都内の求人に申し込みするケースが多い。</li> <li>・ 就職数、離職数ともに精神障がいがあるかたの数が突出している。</li> <li>・ 登録者数の伸びが顕著であるため、ジョブコーチの依頼など、関係機関との連携を強めていきたい。</li> </ul> </li> <li>● 三郷市障がい福祉相談支援センターパティオ           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市から委託を受けて運営している障がい福祉相談支援事業所である。</li> <li>・ 就労に関する相談もあるが、主に、生活、一般相談を受け支援を行っている。関係機関との調整などについては、計画相談を受け、ケアプランの作成も行っている。計画相談支援を行っている事業所は市内に7事業所あるが、そのうち3事業所は児童専門であるため、サービス利用者が増えている中で受け手が足りていないという地域の状況がある。</li> </ul> </li> <li>● みさと協立病院 デイケア           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ デイケアの登録者数が約70名、統合失調症のかたが9割ほど。一日あたり18名から20名参加している。</li> <li>・ 「デイケアに来ること」が目標のかたがいる一方、センターと連携して一般企業の障がい者枠にて就労したかたもいる。年単位で就労継続していたが退職に至り、デイケアに通いながら再就職を目指しているかたなど、障がい特性として波があるため、そこも考えあわせながら業務にあたっている。</li> </ul> </li> <li>● 就労継続支援A型事業所 インスピリット           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般就労に興味があるかたについて、企業への見学や実習を経て2名、うち、センター登録者は1名、一般企業への就職につながった。</li> <li>・ A型の事業については個々の状況に応じて支援している。加えて、こ</li> </ul> </li> </ul>

れから生涯にわたってどれぐらいの費用や貯蓄が必要か不安であるという声を直接聞いているなかで、令和元年10月から法人内別事業として、家計管理や生活設計の相談支援をA型の利用者を中心に、月1名から2名実施している。まだ手探りの状態で外部から相談を受けられる体制はこれからであるが、そのような仕組みを作りながら支援に取り組んでいる。

● 就労移行支援事業所 ラ・ポルタ（資料提供あり）

- ・ 三郷市早稲田と三郷中央の分室あわせて定員20名、利用者23名。分室はバリアフリーであり、車椅子使用のかたも通所可能。今年度就職者は7名、トライアル雇用が2名、来月頭より就労予定のかたが1名。
- ・ 定着率としては3年を過ぎると安定してくるが、6カ月から2年の間にわずかに下がっている。就労継続にあたり、より調整が必要なかたの割合が増加しており安定した定着にむけた課題となっている。
- ・ 三郷市の地域性もあり、事務職で9名のかたが就労しているが半数が都内や越谷市など市外であり、また、遠方については特例子会社のかたが多くを占めている。本人のニーズに合わせて求職支援を行っているため、さまざまな職種にて就労されている。
- ・ 障がい種別や年齢、経歴、背景など利用者の状況の幅が広がっており、就労支援のみでは支えきれないケースが増加している。
- ・ 八潮市在住の利用者が増加、3分の1を占めている。
- ・ 車椅子利用者のかたの就労先の確保が難しい。
- ・ 定着支援において、上司や運営方針が頻繁に変わってしまい、その際に職場内で引継ぎがされないなどのケースがある。生活支援においては、関係機関と連携をとり行っている。

● 東部障がい者就業・生活支援センター みらい

- ・ 精神障がいがあるかたの離職率が高いというのは肌で感じている。「就職を決めてくる力」はあるものの、業務とのミスマッチにより離職につながっていると感じている。
- ・ 物理的に三郷市とは、比較的なじみが薄いところがあるが、他市の状況などについては把握しているため、そのネットワークの情報を生かしていきたい。今後とも、各機関のお知恵をお借りしながら事業運営していきたい。

● ハローワーク草加

- ・ 昨年12月26日に埼玉労働局より発表があったところであるが関係機関のご尽力を頂き、県としての雇用率・実雇用率ともに過去最高を達成し、都道府県での順位も全国24位となった。今後ともよろしく願いしたい。

● 埼玉県障害者雇用総合サポートセンター

- ・ 機関の定着支援部門として参加。業務としてはジョブコーチ支援、アドバイザー派遣、アセスメント支援を実施。勤務しているが、環境への適応が難しいかたなど、市障がい者就労支援センターと連携し、全県的に支援を行っている。ご相談あれば連絡願いたい。

● 埼玉県立三郷特別支援学校（資料提供あり）

- ・ 知的障がいのかたを対象としており、在校生230名強。うち高等部101名、3年生が33名。現場実習受入や進路先として、また、就労における定着支援や生活支援、相談支援とさまざまな場面で支援いただき、この場を借りて御礼申し上げます。
- ・ 「進路だよりNo.11」参照。企業とのマッチングを経て13名が就労希望、うち三郷市内が6名。ほぼ例年通り。
- ・ 「進路だよりNo.14」参照。昨年12月に元佐川急便東京本社人事部小林様を講師として保護者向けの就労支援アドバイザー講演会を開催。御覧のとおり、参加されたかたからは非常に好評であった。令和2年2月20日の進路連絡協議会でもご講演いただくので、是非参加をお願いしたい。

● 埼玉県立越谷特別支援学校

- ・ 肢体不自由のかたを対象としており、学区外を含め9市1町から通学。そのうちのひとつが三郷市である。おおよその数字となるが、今年度50名が実習を実施、うち45名が生活介護事業所、5名が就労支援に関する事業所にて行っている。就労移行支援事業所を利用することにより、一般就労に結びついている卒業生もいるため、今後とも連携をお願いしたい。

● 就労移行支援事業所 カルディアみさと

- ・ 登録者26名、3障がいのかたを受け入れており、そのうち精神障がいのかたが多い。クローズを含めて5名のかたが一般就労に結びついている。現在10名のかたが求職活動に入っており、本日も埼玉県障害者雇用総合サポートセンター主催の事業主見学会に参加している。コミュニケーションを重視して運営しており、今後看護師による面談も実施する予定である。

● 就労継続支援A型事業所 ブルースカイ三郷

- ・ A型の継続利用を希望しているかたは、勤怠や体調も安定、就労目的も明確。将来的にはということも含め一般就労を目指しているかたのなかには、職業準備性が整っておらず、就労目的も不明確な場合もある。
- ・ 今まで以上に一般就労へ向けたという意識も必要という話が所内で出ている。本人には、仕事へ向き合う姿勢を変化させていく必要があるとも伝えており、そうしないと一般就労へと進んだとしても、つまづいてしまった時に、現状に比して状態が悪化してしまうといったことにもつ

	<p>ながりかねないとも考えている。スタッフ含め今後の方向性を検討していきたい。</p>
事務局	<p>「(2) 三郷市障がい者計画・第5期三郷市障がい福祉計画進捗状況について ①障がい者就労支援に関する施策の展開の状況について ②障がい福祉サービスの推進の状況について」</p> <p>資料2-1及び資料2-2をもとに説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議題にあげさせていただいた意味合いとしましては、来年度が来期計画の策定年度となっており、策定にあたって就労支援に関しては皆様から是非ご意見をいただき、計画に反映させていければと考えております。</li> <li>・ 資料2-1に基づき説明。就労支援に関する施策、具体的内容、平成30年度実績の概略を報告。</li> <li>・ 資料2-2に基づき説明。実態調査の対象者としては手帳所持者であり、就労、未就労の区分けは行っていない。障がい福祉サービス現状の推移及び見込み量について、平成30年度実績値について、就労移行支援分は市内の事業者のみに聞き取り調査を行っている。平成32年度(令和2年度)の目標値について、平成30年度の数値は市内移行支援事業所のみ調査した値となっている。</li> </ul>
構成機関	<p>資料2-1の内容で来期の就労支援に関する施策の計画を立てていくということでしょうか。</p>
事務局	<p>令和2年度に来期計画策定年度として、1年間かけて他の施策との兼ね合いも鑑みながら計画を立てていく予定です。計画実施年度については令和3年度から令和5年度までです。来年度になりましたら本格的に動いていく予定ですが、その前にご助言を頂ければということで、議題にあげさせていただきます。</p>
構成機関	<p>今般当会議にて作成した「三郷市障がい者就労支援施設等事業所ガイドブック」について、相談支援の場面において説明補助資料として活用している。計画に反映させてはどうか。</p>
事務局	<p>検討してまいります。</p> <p>今後、計画策定に向け懇話会を設置する予定です。事務局で取りまとめをして意見としてあげていくことは可能かと存じますので、個別にご意見を頂ければと考えております。宜しくお願い致します。</p>
事務局	<p>「(3) 各機関における一般就労への求職支援について (情報交換)」</p> <p>資料3及び資料3-1をもとに説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料3-1「三郷市障がい者就労支援センターからみた求職支援の枠組み」について、就労支援の流れとして、左から右、「職業に関する方向付けのための支援」「職業準備性の向上のための支援」の次に「就職のた</li> </ul>

めの支援」、いわゆる求職支援、そのあと「雇用継続のための支援」というものがあります。その中の現状における就職のための支援をセンターからの視点及び各機関の機能をもとに皆様のご理解の一助としてまとめさせていただいています。国や県の資料をもとに作成致しましたが、特に各機関の機能の部分など、誤りがありましたらご教示いただければと思います。

- まず、真ん中、三郷市障がい者就労支援センターと就業・生活支援センターの機能として登録者に対して相談支援を中心に「職業準備性の整理」「関係機関との連絡調整」「労働条件、希望職種の明確化」「希望企業との見学、職場実習実施にかかる調整」「履歴書等作成支援、面接練習、面接同行」などを行っています。

ハローワークにつきましては専門援助部門を中心に相談者に対して「障がいの態様や適性、希望職種等に応じ、きめ細やかな職業相談、職業紹介、職場適応指導」などを実施していただいているかと思えます。

就労移行支援事業所については利用者のかたに対して「一般就労への移行に向けて、適性に合った職場探し、個別支援計画に応じた職場実習等によるサービスを組み合わせた支援」を実施頂いているところかと思えます。特別支援学校につきましては在校生に対して「職業、作業学習、専門学科」などの授業及び学校外での「産業現場等における実習」などを指導いただいているところかと思えます。

就労継続支援A型事業所につきましては、利用者に対して「雇用契約に基づく就労の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった者について、一般就労への移行に向けて支援」頂いているかと思えます。

埼玉県障害者雇用総合サポートセンターにつきましては「障がい者の雇用の場の創出」「就労のコーディネート」「障害者短期訓練」など実施頂いているかと思えます。

その土台への支援、生活支援として医療機関、相談支援事業所にて生活支援を行っていただいております。

- 就労支援センターとの関係としましては、連携についてはすべての機関と行い、その他、就労移行支援事業所やHWにつきましては、相互にそれぞれの機関機能の利用及び登録勧奨を行わせて頂いています。

特別支援学校とは、卒後就労希望の方の登録を8月頃に行っていたいただき、在校中の企業への実習同行、卒後の連携した定着支援を行わせて頂いています。

就労継続支援A型事業所とは、センター登録者のうち、マッチングするかたへの利用手続き支援、定着支援、また、センターに未登録のかたで、一般就労への移行が見込まれるかたにつきましては、センターに登

	<p>録いただいて、センターにて一般就労への求職支援に入らせて頂いたケースもございます。</p> <p>埼玉県障害者雇用総合サポートセンターとは企業からの雇入情報の提供を頂いており、登録者に情報提供しています。</p> <p>デイケアを含む医療機関、相談支援事業所からは、通院や支援でかわりのあるかたで、センターに未登録のかたのうち、就労が見込まれる方へ登録勧奨を行っていただいて、センターにて求職支援に入らせて頂いております。</p> <p>枠組みとしては、センターとしては以上のように理解させて頂き、求職支援を行っているところです。</p> <p>ご説明については以上となりますが、誤りであるとか連携方法についてご意見はございますでしょうか。</p>
構成機関	【特になし】
事務局	<p>そうしましたら、こちらを基にして、実際に求職支援を行っている機関のかたから現状や課題があればお教えてください。また、就労継続支援A型事業所や医療機関、相談支援事業所のかたは直接企業とのやり取りは少なく、センターをはじめとした機関がその部分を担わせていただいているという枠組みかと思しますので、連携方法などご意見があればお伺いできればと思います。</p>
構成機関	<p>資料3-1の見方として、カラーで作成頂いたと思うのだが、左から時系列で大きい矢印に沿ってという形で理解してよいか。</p>
事務局	お見込みのとおりです。
構成機関	<p>ゴール、一般就労が右端にあるイメージかと思うので、時系列を意識するためにもカラーのほうがわかりやすいかと思う。もちろん、一般就労ができたということが目標ではなく、その先の定着支援が重要であるが、矢印がカラーのほうが、理解しやすいと感じた。</p>
構成機関	この図はあくまで求職支援のみをとりあげたものと考えてよいか。
事務局	お見込みのとおりです。
構成機関	<p>その先の定着支援がセンターとしては重要かと思うので、そこもあつたほうが、機能の説明としてはわかりやすいかと感じた。今回は求職支援に焦点を当てているため、この図のとおりでよいと思う。</p>
事務局	<p>この図につきましては、センターとしては定着支援の重要性を認識したうえで、議題として求職支援を取り上げておりますので、皆様の理解の一助として事務局にて作成致しております。</p> <p>先ほど、就労継続支援A型事業所を利用されているかたで準備性が整ったかたは、一般就労を意識してというお話を頂きましたが、ご本人への求</p>

構成機関	<p>職支援のなかで、市のセンターが役割を担える部分はありますでしょうか。</p> <p>一般就労に向け、基本的なビジネスマナーが身に着いていないかたもいるため、先ほど報告のあったステップアップ講座について、就労継続支援A型事業所利用者向けに開催してもらえると効果的と考える。</p>
構成機関	<p>先ほど福祉に寄ってしまっているとの話もあったが、どの機関でも準備性を整えるのが難しいかたが、就労継続支援A型事業所を3年ほど利用するなかで勤怠が安定し、一般就労に結びついたケースがあった。今後とも連携していければと考えている。</p> <p>もう1点、厚生労働省作成の資料のご紹介もあったところだが、三郷市としての地域課題、何が不足していて何が整っていないのかということ而就労支援に関する機関が集まった折角の機会でもあるので、情報交換できればと考える。</p>
事務局	<p>市としての障がい者就労支援に関する共通の地域課題について、事務局としてまとめる必要があることは認識しながら、部分部分の議題をあげさせていただいているので、わかりづらさがあったかと思います。地域の中で不足しているところ、もちろん整っているところもあると考えておりますので、引き続き分析を行っていきたいと考えております。</p> <p>先ほどお話をいただいた、一般就労に向けた講座につきましてはご依頼いただければ資料を用意させて頂き、お伺いいたしますので、是非ご相談ください。</p> <p><b>「(4) その他」</b></p> <p>次回会議の日程につきまして、令和2年7月22日(水)13時30分より開催予定でございますので、宜しくお願い致します。</p> <p>以上をもちまして、議題につきましては終了とさせていただきます。</p> <p><b>4. 閉会</b></p> <p>閉会挨拶 障がい福祉課 岩間課長補佐</p>